



【低平地研究会】公開研究会「佐賀の水辺のこれから」の開催案内

【概要】

2026年1月14日（水）に低平地研究会の公開研究会「佐賀の水辺のこれから」が開催されます。前半は昨年10月にオランダのデルフト工科大学修士課程を修了した稻井佳那子氏による水環境を考慮した佐賀の水路網や水辺の持続可能な活用に関する提案、後半は佐賀の水路網の活用に関する意見交換会です。

私たちの身近にある水路網の活用について、気候変動への適応に加え、水環境や生態系との関係を取り入れたオランダの考え方、今後の佐賀低平地における防災や地域活性化など、新たな発展のヒントとなれば幸いです。

どなたでも気軽に参加できるイベントですので、ぜひ会場にお越しください。

【本文】

低平地研究会 公開研究会「佐賀の水辺のこれから」

日時：2026年1月14日（水）14:00～17:00

場所：佐賀大学理工学部4号館1階デザインギャラリー または オンライン参加（Zoom）

主催：低平地研究会 環境専門部会・都市空間専門部会

スケジュール：

14:00～14:05 【挨拶】

14:05～15:05 【話題提供】

演題：「水と寄り添うまちの再編—佐賀市における水路空間を中心とした持続可能なブルーグリーンネットワークの提案—（Reviving the Heritage Water Network -A sustainable, adaptive blue-green network for Saga-）」

講師：稻井 佳那子 氏（デルフト工科大学（オランダ）建築・環境学部ランドスケープアーキテクチャ専攻 修士課程修了（2025年））

概要：佐賀の水路網はかつて人々の生活文化を支えたが、生活様式の変化や人口減少によりその価値は失われつつある。本研究は、ランドスケープ・バイオグラフィーの視点から水路網を動的遺産として捉え、気候レジリエンス、生態回復、そして街の活性化に資するブルーグリーン・インフラとして再生する方法を探る。都市の余白に可能性を見出し、水路との関係性を見直しながら、人と自然の関係を再構築することで、地域資源を活用した地方都市の持続可能な新たなまちづくりモデルを示す。

15:05～15:15 休憩

15:15～16:55 【意見交換会】

パネリスト：

- ・稻井 佳那子 氏（同上）
 - ・後藤 隆太郎 氏（低平地研究会都市空間専門部会副部会長、佐賀大学理工学部教授）
 - ・笠 真希 氏（低平地研究会会員、佐賀大学理工学部客員研究員、NPO 低平地における水と土のコモンスペース研究会代表）
 - ・川崎 康広 氏（株川崎空間研究所、さがクリークネット代表）
 - ・三島 悠一郎 氏（低平地研究会環境専門部会副部会長、佐賀大学理工学部准教授）
- コーディネーター：ウォンタナースントーン ナルモン 氏（低平地研究会環境専門部会部会長、佐賀大学理工学部准教授）

16:55～17:00 【閉会挨拶】後藤隆太郎（同上）

参加申し込みフォーム

<https://forms.gle/okhSrfAbebGGxeE37>



お問い合わせ：低平地研究会事務局（武富）

Mail:lora@lora-saga.jp

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

TEL/FAX0952-28-8712